

インターネットテレビ局 AbemaTV における番組視聴データを用いたユーザー行動分析

松田 和己¹, 和田 計也¹, 福田 一郎²

¹ 株式会社サイバーエージェント 秋葉原ラボ

² 株式会社サイバーエージェント 技術本部

1 はじめに

AbemaTV は、2016 年 4 月に開局したスマートフォン・タブレット・PC・テレビデバイス向けのインターネットテレビ局で (図 1), 約 20 あるチャンネルごとに予定された番組表に従い, 最新ニュースやオリジナル番組をはじめ, アニメやドラマ, 音楽, スポーツ, 将棋など多彩な番組を無料で提供している. また, 同サービスは, テレビ朝日とサイバーエージェントが出資して設立した株式会社 AbemaTV が運営している. AbemaTV では, ユーザーの番組視聴や番組へのコメントなどの行動データが収集され, 番組の調達, 番組表の編成, 検索機能やレコメンドロジックなどに広く活用されている. サイバーエージェント秋葉原ラボでは, AbemaTV をはじめとしたメディア事業関連サービスに対して, 集約されたデータの分析や機械学習技術を通して利活用支援を行なっている.

本報告では, 番組視聴データを用いたユーザー行動分析事例を報告する.



図 1: 様々なデバイスで視聴体験を提供する AbemaTV

2 ユーザーの継続・離脱分析

AbemaTV は, 通常のテレビと同様に, 番組の途中や番組と番組の間に広告 (CM) が流れるビジネスモデルで, ユーザー数の増加が重要となる. 一方で, サービス開始から 1 年経った 2017 年 4 月には, ユーザーが観たい時にコンテンツを視聴することができるビデオ・オン・デマンドの機能として Abema ビデオが提供されるなど, 機能の充実が進むと同時に, データの多様化が進んでいる.

本報告では, ユーザーの継続利用率の高いサービスを実現するため, 多様になった番組視聴の実績に加えて, コメントや視聴予約などの付随機能の利用実績や視聴デバイスの情報を用いたユーザーの継続・離脱分析を行う.

分析内容および結果の詳細については当日報告する.